

第2期北海道創生総合戦略(改訂版)のポイント

1 改訂の考え方

- 見直し方針(R3.5決定)の方向性に沿って、3つの視点に基づいて見直しを実施
 - ①「ポストコロナ」を見据えた地域創生の推進
 - ②人々の行動変容や「デジタル化」の推進、「脱炭素化」の動きなど社会変革への対応
 - ③総合計画等関連計画との整合

2 主な改訂ポイント

- はじめに(P1～)
 - ・感染症の影響、コロナ禍を契機とした地方への関心の高まり等、改訂の趣旨を追加
 - ・「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた施策の推進を追加
- 戦略推進の基本方針(P6～)
 - ・分野横断的な政策展開として、「ゼロカーボン北海道」の実現を追加
 - ・社会経済情勢の変化への対応として、「ポストコロナを見据えた社会変革や行動変容への対応」を追加
- 重点戦略プロジェクト(P8～)
 - ・感染症対策やデジタル化等関連施策を追加、修正

【重点戦略プロジェクトの枠組み】
「まち・ひと・しごと」に対応した3つのプロジェクトのほか、その効果を高める横断的な取組として「北海道らしい関係人口」・「北海道Society5.0」の2つのプロジェクトを設定



- 基本戦略(P22～)
 - ・感染症の影響を踏まえ、各施策を適宜修正(医療、教育、移住、ワーケーション等)
 - ・市町村のデジタル化促進やデジタルデバインド対策など、道内自治体のDX推進に係る施策を追加
 - ・観光関連施策を、「観光のくにづくり行動計画」をベースに全面修正
 - ・脱炭素化関連施策を、地域創生の観点から追加、修正
- 地域戦略(P63)
 - ・「地域の資源や特性を活かした魅力ある地域づくり」等の地域づくりの方針をあらためて提示
 - ・地域振興条例に基づく地域計画である「連携地域別政策展開方針」を地域戦略として位置づけ
- 市町村戦略支援(P64)
 - ・企業版ふるさと納税、特定地域づくり事業協同組合制度の活用に向けた支援追加
- 戦略の推進管理(P66)
 - ・指標設定の基準と考え方を追加